


環境省・オフセット・クレジット(J-VER)制度認証委員会  
(事務局:気候変動対策認証センター)御中

平成23年7月26日

## 検証結果の概要報告書

検証結果の概要について以下の通り報告いたします。

<b>対象プロジェクト名</b>						
山梨県南アルプス市 小水力発電導入による温室効果ガス削減事業 ～南アルプス市の清らかな水からの「J-VER」創出プロジェクト～						
<b>GHG 検証機関</b>						
当該プロジェクトにおける検証を行うにあたり、当該プロジェクトに関して一切の利害関係がないことを宣誓します。						
機関名	SGS ジャパン株式会社					
担当部署名	認証サービス事業部 サステナビリティサービス部					
責任者名	マネジャー 西 利道					
責任者 E-mail	Toshimichi.nishi@sgs.com					
責任者電話番号	045-330-5021					
審査員名 <sup>1</sup>	茅 博司(チームリーダー) 西 利道(レビュー担当者)					
機関要件への合致	暫定的な妥当性確認・検証機関としての要件を満たし、暫定妥当性確認・検証機関としての登録を受けている。また、ISO14065 に関わる認定の申請を日本適合性認定協会へ提出し、受理されている。					
検証報告書発行日	平成 23 年 7 月 26 日					
<b>検証結果</b>						
適用妥当性確認・検証ガイドライン	オフセット・クレジット(J-VER)制度 妥当性確認・検証ガイドライン Ver.1.2					
検証期間	2010年4月1日 ～ 2010年3月31日					
現地審査	期間	2011年6月28日 ～ 2011年6月28日				
	審査内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>① モニタリング報告書(含別紙)の現場検証前のレビュー、及び妥当性確認時のプロジェクト計画書、モニタリングプラン内容との整合性確認。</li> <li>② 現場におけるサイトツアー(全モニタリングポイントの確認)、設備の稼動運用状況、及び各モニタリングポイントでの実績を確認できる伝票やその他資料の確認。</li> <li>③ モニタリング体制や、QA/QCの状況等(含説明資料など)の確認。</li> </ul>				
排出削減・吸収量	年度	2008	2009	2010	2011	2012
	t-CO2			90		

<p>検証結果の要約</p>	<p>SGS ジャパン株式会社は、「山梨県南アルプス市 小水力発電導入による温室効果ガス削減事業 ～南アルプス市の清らかな水からの「J-VER」創出プロジェクト～」を対象としたモニタリング期間(2010年4月1日～2011年3月31日)における、CO2排出削減量を検証した。</p> <p>検証の結果、「オフセット・クレジット(J-VER)制度に基づく温室効果ガス排出削減・吸収プロジェクトモニタリング報告書Ver1.1(2011年7月11日)」(モニタリング報告書(別紙)を含む)に記載された二酸化炭素排出削減量90t-CO2は、オフセット・クレジット(J-VER)制度に基づく温室効果ガス排出削減・吸収プロジェクト申請書Ver.1.1(2011年2月17日)、及び申請書別紙モニタリング計画書Ver.1.1(2011年2月17日)に基づいて算定されており、検証の過程で誤りは検出されなかった。なお、モニタリング計画書に記載されたQA/QCの(3)データの確認方法が、モニタリング報告書(別紙)において一部変更されていたが、軽微な変更であることを確認し検証を継続した。</p> <p>よって、当該プロジェクトは、オフセット・クレジット(J-VER)制度実施規則、モニタリング方法ガイドライン(排出削減プロジェクト用)、排出削減ポジティブリスト・方法論(E015・JEAM015)に依拠して作成されており、全ての重要な点において適正であると認める。</p>
----------------	--

i 審査担当者、レビュー担当者、外部専門家を含み、それぞれの役割を記載すること。